



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月1日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9351 URL <https://www.toyofuto.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大野 武一 TEL 03-5560-2702  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年11月30日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,808	△10.2	686	△31.5	749	△43.5	483	△47.9
2023年3月期第2四半期	19,821	12.4	1,002	10.7	1,327	22.8	927	20.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,646百万円 (87.4%) 2023年3月期第2四半期 878百万円 (△0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	64.57	—
2023年3月期第2四半期	120.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	46,947	25,117	53.2	3,368.78
2023年3月期	46,313	23,885	51.3	3,144.54

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 24,975百万円 2023年3月期 23,737百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△5.5	1,200	△22.0	1,400	△24.2	1,000	△21.0	134.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,740,000株	2023年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	326,240株	2023年3月期	191,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,491,884株	2023年3月期2Q	7,701,483株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 3をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症法上の分類移行に伴い、経済活動は正常化が進んできたものの、ウクライナ情勢の長期化に起因するエネルギー資源をはじめとした諸物価の高騰など、依然として不透明な状況が続きました。

物流を取り巻く環境は、貨物の荷動きが低調に推移し、燃料動力費、修繕費、人件費などが増加し、厳しい状況が続きました。

このような中、当社グループでは、グループ各社の連携を一層強化し、営業の拡大、経営基盤の強化、社会的責任の向上に取り組んでまいりました。

国内総合物流事業は、危険品、残土などの取扱いは堅調に推移したものの、穀物、輸入青果物、コンテナなどの取扱数量及び倉庫保管残高が前年同期を下回りました。

国際物流事業は、アジア、欧州向け輸出貨物の取扱いが減少したほか、海上運賃の下落により、営業収入、営業利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収入は178億8百万円（前年同期比20億1千2百万円、10.2%減収）、営業利益は6億8千6百万円（前年同期比3億1千5百万円、31.5%減益）となり、ともに前年同期を下回りました。営業外収支では、為替差損や持分法による投資損失を計上したことなどにより、経常利益は7億4千9百万円（前年同期比5億7千7百万円、43.5%減益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千3百万円（前年同期比4億4千4百万円、47.9%減益）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

#### ○ 国内総合物流事業

国内総合物流事業の営業収入は157億3千万円（前年同期比1.5%減収）、営業利益は6億2千3百万円（前年同期比19.9%減益）となりました。

##### 《倉庫業》

倉庫業の営業収入は59億1千万円（前年同期比1.3%減収）となりました。入出庫数量は171万トン（前年同期178万トン）、平均保管残高は32万トン（前年同期37万トン）でした。石油化学品、穀物、輸入青果物などの取扱いが減少し、入出庫数量、平均保管残高ともに前年同期を下回りました。

##### 《港湾運送業》

港湾運送業の営業収入は41億4千5百万円（前年同期比1.3%減収）となりました。ばら積み貨物は残土などの取扱いが増加したものの、穀物などの取扱いが減少し、233万トン（前年同期237万トン）でした。コンテナ取扱数量は川崎港での取扱いが減少しました。

##### 《自動車運送業》

自動車運送業の営業収入は27億1千6百万円（前年同期比8.3%減収）となりました。全般的な荷動きの低迷により、取扱いが減少しました。

##### 《その他の業務》

その他の業務の営業収入は29億5千8百万円（前年同期比5.1%増収）となりました。物流関連施設の賃貸に伴う収入が増加しました。

#### ○ 国際物流事業

国際物流事業の営業収入は22億5千6百万円（前年同期比43.4%減収）、営業利益は5千6百万円（前年同期比74.2%減益）となりました。アジア、欧州向け輸出貨物の取扱いが減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 全般の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億3千4百万円増加し、469億4千7百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少などにより、8億9千9百万円減少しましたが、固定資産は、株価の上昇に伴い投資有価証券が増加したことなどにより、15億3千4百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億9千8百万円減少し、218億2千9百万円となりました。繰延税金負債は増加しましたが、借入金が長期短期合わせて8億6千1百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億3千2百万円増加し、251億1千7百万円となりました。その他有価証券評価差額金が11億6千1百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9ポイント上昇し、53.2%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より、7億1千4百万円減少し、18億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が減益となったことなどにより、前年同期に比べ7億1千2百万円減少し、14億5千1百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億9千8百万円の純支出となりました。固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期に比べ17億6千3百万円純支出が減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億6千2百万円の純支出となりました。長期借入れによる収入が減少したことなどにより、前年同期に比べ9億4千6百万円純支出が増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日の決算短信にて公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2023年11月1日)公表いたしました「2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,923	2,207
受取手形、営業未収入金及び契約資産	4,196	4,125
原材料及び貯蔵品	248	249
前払費用	171	239
その他	1,119	937
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,658	7,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	58,460	58,682
減価償却累計額	△42,547	△43,069
建物及び構築物(純額)	15,913	15,613
機械及び装置	21,843	21,918
減価償却累計額	△18,514	△18,810
機械及び装置(純額)	3,329	3,107
船舶及び車両運搬具	1,412	1,428
減価償却累計額	△1,281	△1,311
船舶及び車両運搬具(純額)	130	116
工具、器具及び備品	1,148	1,195
減価償却累計額	△933	△944
工具、器具及び備品(純額)	215	250
土地	9,210	9,210
リース資産	128	135
減価償却累計額	△64	△76
リース資産(純額)	63	59
建設仮勘定	0	131
有形固定資産合計	28,863	28,490
無形固定資産		
その他	424	617
無形固定資産合計	424	617
投資その他の資産		
投資有価証券	6,649	8,340
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	190	195
その他	1,546	1,565
貸倒引当金	△24	△23
投資その他の資産合計	8,366	10,081
固定資産合計	37,654	39,188
資産合計	46,313	46,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,253	3,020
短期借入金	5,259	5,089
リース債務	26	23
未払金	897	833
未払法人税等	289	291
設備関係支払手形	460	496
その他	1,184	1,198
流動負債合計	11,370	10,954
固定負債		
長期借入金	9,112	8,420
リース債務	38	36
繰延税金負債	106	628
退職給付に係る負債	1,559	1,560
資産除去債務	41	36
その他	198	194
固定負債合計	11,057	10,875
負債合計	22,428	21,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	8,414	8,671
自己株式	△263	△449
株主資本合計	21,593	21,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,922	3,084
為替換算調整勘定	152	157
退職給付に係る調整累計額	69	69
その他の包括利益累計額合計	2,143	3,310
非支配株主持分	147	142
純資産合計	23,885	25,117
負債純資産合計	46,313	46,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収入	19,821	17,808
営業原価	17,733	15,911
営業総利益	2,087	1,897
販売費及び一般管理費	1,085	1,211
営業利益	1,002	686
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	119	124
投資有価証券売却益	1	—
受取地代家賃	38	40
持分法による投資利益	32	—
為替差益	188	—
その他	35	38
営業外収益合計	416	203
営業外費用		
支払利息	74	74
持分法による投資損失	—	12
為替差損	—	44
その他	16	8
営業外費用合計	91	140
経常利益	1,327	749
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	34	20
特別損失合計	34	20
税金等調整前四半期純利益	1,295	730
法人税、住民税及び事業税	380	261
法人税等調整額	△18	△10
法人税等合計	361	251
四半期純利益	933	478
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	927	483

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	933	478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	1,159
為替換算調整勘定	42	0
退職給付に係る調整額	9	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	7	7
その他の包括利益合計	△54	1,167
四半期包括利益	878	1,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	873	1,650
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,295	730
減価償却費	1,025	1,019
引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19	0
固定資産処分損益 (△は益)	32	19
借地権利金償却額	9	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	—
受取利息及び受取配当金	△120	△124
支払利息	74	74
持分法による投資損益 (△は益)	△32	12
売上債権の増減額 (△は増加)	240	67
仕入債務の増減額 (△は減少)	△243	△223
その他	96	70
小計	2,393	1,655
利息及び配当金の受取額	122	124
利息の支払額	△73	△68
法人税等の支払額	△278	△259
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,163	1,451
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△102	△102
定期預金の払戻による収入	100	104
固定資産の取得による支出	△2,551	△723
固定資産の売却による収入	2	1
固定資産の除却による支出	△89	△119
資産除去債務の履行による支出	—	△2
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
投資有価証券の売却による収入	3	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△21
貸付けによる支出	△25	△39
貸付金の回収による収入	9	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,662	△898
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△108	△33
長期借入れによる収入	1,200	300
長期借入金の返済による支出	△1,202	△1,103
自己株式の取得による支出	△0	△185
配当金の支払額	△192	△225
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△12	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316	△1,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	152	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△662	△714
現金及び現金同等物の期首残高	3,429	2,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,766	1,809

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

前連結会計年度(2023年3月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社は、以下のとおり、2022年3月28日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2022年5月23日に訴状の送達を受けました。

## 1. 訴訟の概要

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し近隣の施設に延焼しました。これに対し、延焼した施設で発電事業を行っている株式会社京浜バイオマスパワー、また発電施設の所有者である出光興産株式会社より2022年3月28日付にて、当社に対する損害賠償請求訴訟が提起されました。

## 2. 訴訟を提起した者の概要

(1) 名称：①株式会社京浜バイオマスパワー

②出光興産株式会社

(2) 所在地：①神奈川県川崎市川崎区扇町18番1号

②東京都千代田区大手町一丁目2番1号

## 3. 損害賠償請求金額(遅延損害金を除く)

①37億9,423万8,105円

②2億6,486万7,975円

## 4. 今後の見通し

当社としては、事実関係の認識などに相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処していきます。訴訟の推移によっては、将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況です。

当第2四半期連結会計期間(2023年9月30日)

(当社川崎支店の火災について)

当社は、以下のとおり、2022年3月28日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2022年5月23日に訴状の送達を受けました。

## 1. 訴訟の概要

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し近隣の施設に延焼しました。これに対し、延焼した施設で発電事業を行っている株式会社京浜バイオマスパワー、また発電施設の所有者である出光興産株式会社より2022年3月28日付にて、当社に対する損害賠償請求訴訟が提起されました。

## 2. 訴訟を提起した者の概要

(1) 名称：①株式会社京浜バイオマスパワー

②出光興産株式会社

(2) 所在地：①神奈川県川崎市川崎区扇町18番1号

②東京都千代田区大手町一丁目2番1号

## 3. 損害賠償請求金額(遅延損害金を除く)

①37億9,423万8,105円

②2億6,486万7,975円

## 4. 今後の見通し

当社としては、事実関係の認識などに相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処していきます。訴訟の推移によっては、将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,921	3,899	19,821	—	19,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	89	135	△135	—
計	15,967	3,988	19,956	△135	19,821
セグメント利益	778	220	998	3	1,002

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,695	2,113	17,808	—	17,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	142	178	△178	—
計	15,730	2,256	17,986	△178	17,808
セグメント利益	623	56	680	5	686

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。